

kanagawa ARTS PRESS

神奈川芸術プレス Vol.142

6 | 7
2018



©Takafumi Ueno

CREATOR'S VOICE 161
アンドレア・バッティストーニー オペラ「アイーダ」

夏休み・子どものためのプログラムを一挙掲載！
オープンシアター2018 県民ホールギャラリー開催イベント
KAAT×地点 共同制作シリーズ連続公演「山山」「忘れる日本人」

隔月刊：奇数月15日発行

「アイーダ」は「オペラの女王」。
 今回のプロジェクトは、
 私のこれまでの日本における仕事の集大成になる予感がしています。

グランドオペラ共同制作 ヴェルディ作曲 オペラ「アイーダ」

神奈川県民ホール

アンドレア・ バッティストーニ

指揮者



この10月、神奈川県民ホールで上演されるヴェルディのオペラ「アイーダ」は、全国的な話題をさらっている公演だ。札幌にオープンする札幌文化芸術劇場Zaoyuのこけら落とし公演を振り出しに、神奈川県（神奈川県民ホール）、兵庫（兵庫県立芸術文化センター）、大分（Zaoyu総合文化センター）の4か所で上演される、日本を縦断する大プロジェクトである。いくつかの劇場が共同してオペラを制作する「共同制作」は近年盛んになりつつあるが、これだけ大規模なものはない。

全6公演の指揮を務めるのは、世界的な注目を浴びているイタリアの俊英、アンドレア・バッティストーニ。「アイーダ」は「オペラの女王」と語るマエストロに、音楽家になったきっかけ、そして作品と公演の魅力について語っていただいた。

オーケストラに入って演奏した瞬間、人生が変わった

指揮者になったきっかけを教えてください

ださい。

母がピアニストで、医師の父も音楽が大好きだったので、家にはいつも音楽が溢れていました。音楽は、家族の第二の言語のようなものだったのです。母の影響で小さな頃からチェロを勉強しましたが、正直ひとりで演奏するのはつまらなかつたし、プロになるつもりもありませんでした。けれど故郷のヴェローナの音楽院で勉強している時にオーケストラに入らないかと声をかけられ、実際に入って演奏してみたらすっかり魅了されました。人生が変わったんです。それまでオペラにも交響曲にもあまり興味がなかったのですが、それ以来大好きになりました。

故郷ゆかりのオペラ「アイーダ」。
 オペラ初心者にもお勧めです

——ヴェローナといえば、ローマ帝国時代の遺跡で開催される野外オペラ祭が有名ですね。

ええ。ヴェローナでもう1世紀以上前

アンドレア・バッティストーニ

Andrea Battistoni

1987年ヴェローナ生まれ。スカラ座、ベルリン・ドイツ・オペラ、イスラエル・フィルなど世界一流の劇場やオーケストラで活躍、国際的にもっとも注目を集める指揮者のひとりである。2016年より東京フィルハーモニー交響楽団首席指揮者。





©Takafumi Ueno

から開催されているオペラ祭です。今回指揮する「アイダ」はこの音楽祭の目玉で、毎夏上演されています。ヴェローナ生まれの子どもは必ず見る作品で、私が初めて見たオペラも「アイダ」でした。今回、私の故郷の一部であるこのオペラを日本に持って行って指揮できることを、とても嬉しく思っています。

——「アイダ」という作品の魅力と見どころを教えてください。

「アイダ」は完璧なオペラです。初めてオペラを見る方もうってつけの作品だといえるでしょう。このオペラには、イタリヤ・オペラの二つの側面が同居しています。一つは、大規模なイタリヤ風のグランド・オペラである点。華やかで祝祭的で、大合唱があり、バレエやスケタクルも楽しめる。音楽もスケールが大きく、色彩感に溢れています。イタリヤ風の幻想的な異国趣味も魅力です。

一方で「アイダ」には、主人公たちの心理を描く内面的な側面もあります。華やかな表面の下に、さまざまな人間関係が隠されているのです。愛の三角関係、アイダと父との関係……でも一番重要なのは、国家や宗教のような大きな権力と、個人の人生との対立です。エジプトとエチオピアの戦争のような大きな出来事の

前で、主人公たちの恋愛のような私的な営みが踏みこじられてしまつたのです。

ヴェルディは、人間の自由に敏感な人でした。教会権力にも批判的だった。アイダとラダメスの恋人たちに死をもたすのは、宗教的な権力者である祭司たちです。王女のアムネリスですら、彼らの前には無力なのです。

このような集団と個人の対比を描くためにも、「アイダ」のシンボルである巨大なスケタクルをしっかり描くことが重要です。「凱旋の場」として知られる第2幕第2場のスケタクルは、指揮していて一番やりがいがありますね。オーケストラ、合唱、ソリスト、舞台上のバンドと、大勢の人が一斉に音を出しているのをどうやってまとめるか。指揮者として役に立っているという実感があり、一番エネルギーを感じるし、ソクゾクしません。上手く行った時の満足感は計り知れません。そして、この場面のスケタクルがあるからこそ、後に続く第3幕の心理的な場面が生きてくるのです。

作品の世界を体現した理想的な演出に、日伊のトップクラスの歌手が集つ

——ローマ歌劇場のマウリツィオ・ディ・

グランドオペラ共同制作 ヴェルディ作曲 オペラ「アイダ」

2018年10月20日(土)・21日(日) 神奈川県民ホール〈大ホール〉

演出:ジュリオ・チャバットー 原演出:マウリツィオ・ディ・マッティア
指揮:アンドレア・パッティストーニ 管弦楽:東京フィルハーモニー交響楽団
出演(20日/21日)

アイダ:モニカ・ザネッティン/木下美穂子 ラダメス:福井敬/西村悟
アムネリス:清水華澄/サーニャ・アナスタシア アモナスロ:今井俊輔*/上江隼人
ランフィス:妻屋秀和/斉木健詞 国王:ジョン・ハオ/清水那由太
巫女:針生美智子/松井敦子 伝令:城 宏憲/菅野 敦

*健康上の理由で出演者が変更になりました。

合唱:二期会合唱団

全席指定 S16000円 A13000円 B10000円 C8000円 D5000円 E3000円 学生(24歳以下・枚数限定)2000円

www.artspress.jp

WEB
+a!

このマークの記事にはWEB版だけの+αコンテンツも!

WEB
+a!

マッティア氏が演出した作品を、ジュリオ・チャバットー氏が今回のために新演出し上演されますが、この演出はどのようなものなのでしょうか。

イタリアの伝統的な色彩感にあふれ、装置が大規模で効果的で、「アイダ」という作品が本来あるべき姿をあらわしたプロダクションだと思います。色彩感が豊かで情熱的な音楽作りをしたいと願っている私の考えにもぴったりです。「アイダ」はテーマも普遍的で、現代的な演出も可能な作品ではありますが、色彩感とスベクタクルは絶対に必要。今回は本当に理想的です。

—— キャストの魅力をご紹介いただけますか。

日本とイタリアの選り抜きのキャストが揃いました。今まで日本で共演したトップレベルの方々、福井敬さん、清水華澄さん、上江隼人さん、妻屋秀和さんたちとまた共演できるのとても楽しみです。木下美穂子さんとは、昨年の私の札幌デビューでイタリア・オペラのプログラムをご一緒し、素晴らしい成果をあげることができました。今回札幌で共演する札幌交響楽団とも、その時初めて共演させていただきましたが、オーケストラのレベルもとても高く、またあたた

かく迎えていただいて幸せでした。札幌は劇場のオープニング公演ということでも、とても名誉に感じています。

また今回、イタリアで活躍するモニカ・ザネッティンさんとサーニャ・アナスタシアさんにも加わってもらうことにしました。二人とも魅力的な色合いの声と素晴らしい演技力を備えた歌手で、ヴェローナの「アイダ」で何度も共演しています。日本のメンバームもイタリアのメンバームも、クオリティは保証済みです。

—— 首席指揮者を務められている東京フィルハーモニー交響楽団との関係はいかがでしょう。

素晴らしい関係で、とても満足しています。東京フィルとの関係は、初来日した時のオペラ「ナブッコ」(東京二期会)から始まりました。現在でも演奏会形式によるものを含め、年に2本のオペラを共演しています。オーケストラ曲の分野では、興味のある作品と一緒に探検してくれ、素晴らしい経験をさせてくれる、かけがえないパートナーです。

「アイダ」はオペラの女王。最高に感動的な体験を

—— 公演への抱負をお聞かせください。

今回のプロジェクトは、私のこれまでの日本における仕事の集大成になると感じています。企画、オーガナイズから共演するアーティストまで、これまで出会った方々と一緒に作り上げていけるからです。このプロダクションを通じて、ヴェルディのオペラの偉大さを感じていただければと思います。

「アイダ」はオペラの女王です。興味をそえられる、そして最高の感動を得られる公演にしたいと思っています。ぜひお運びください。劇場でお待ちしております。

my hall myself

私にとっての神奈川県民ホール

横浜も県民ホールも初めてなので、とてもワクワクしています。私の国を代表するオペラ作品である「アイダ」で各地を回り、初めての町、初めての聴衆の皆さまにお会いできるのは大変嬉しいことです。同じ作品でも、場所が違えば公演の印象も、経験で得たものも違ってきます。それが楽しいのです。

取材・文:加藤浩子

KAATキッズ・プログラム 2018

●「不思議の国のアリス」

7月20日(金)～22日(日)〈中スタジアム〉

演出・振付・美術・出演: 森山開次

脚本: 三浦直之

衣裳: ひびのこづえ

全席自由 おとな3500円 こども(4歳～高校生)1500円

おやこチケット(おとな1人+こども1人)4500円 ※3歳以下入場不可

●KAATキッズ・サマー・パーティ in KAAT 高原キャンプ場

7月21日(土)・22日(日)・28日(土)・29日(日)〈大スタジアム〉

おとな(高校生以上)2500円 こども(2歳～中学生)500円

0歳～1歳 無料

●ザ・ラスト・グレート・ハント「ニューオーナー NEW OWNER」(オーストラリア)

8月4日(土)・5日(日)〈大スタジアム〉

全席自由 おとな(中学生以上)2500円 こども(小学生)1000円

おやこチケット(おとな1人+こども1人)3000円 ※未就学児入場不可

●キャサリン・ウィールズ劇団「ホワイト WHITE」(スコットランド/イギリス)

8月7日(火)～9日(木)〈大スタジアム〉

全席自由 おとな(中学生以上)2500円 こども(2歳～小学生)1000円

おやこチケット(おとな1人+こども1人)3000円 ※1歳以下入場不可

●「グレーテルとヘンゼル」

8月18日(土)～26日(日)〈大スタジアム〉

脚本: スザンヌ・ルポー 演出: ジェルヴェ・ゴドロ

全席指定 おとな3500円 こども(4歳～高校生)1500円

おやこチケット(おとな1人+こども1人)4500円

※3歳以下入場不可



KAATキッズ・プログラム2018

KAAT神奈川芸術劇場

どきどき、わくわくと出会える夏!

今年も開催するKAAT神奈川芸術劇場の「KAATキッズ・プログラム2018」のラインナップをご紹介します。

7月は、昨年KAATで好評を博した森山開次演出・振付・出演の「不思議の国のアリス」が再登場します! 素敵なダンスと衣裳、そして耳に残る言葉、リズムののって、めくるめく不思議の国の世界が広がります。大人も子どもと一緒に楽しめるルイス・キャロルの世界にご期待ください。

さらに、音楽ライブやダンス、楽しい企画がいっぱいの「キッズ・サマー・パーティー」を開催。開演中は出入り自由のイベントですので、途中入退場はご遠慮なく。

8月は、昨年「アルヴィン・スプートニクの深海探検」で人気を集めたオーストラリアの劇団、ザ・ラスト・グレート・ハントの新作「ニューオーナー NEW OWNER」を招へい。マーベルと子犬のバーニーの出会いと友情、別れを描きます。スコットランド(イギリス)からはキャサリン・ウィールズ劇団の演劇、



2017年「不思議の国のアリス」公演より

撮影:宮川舞子

世界中で人気の「ホワイトWHITE」がKAATに初登場。鳥の世話をし、卵を守る二人のお友だちのお話です。

そして、あのグリム童話の名作が、ジェルヴェ・ゴドロ演出で演劇「グレーテルとヘンゼル」となって登場。みんなが知っているヘンゼルとグレーテルのお話とは、ちよっぴりちがうストーリーを、日本語で初上演します!

夏休みの素敵な思い出をつくり、どうぞお誘いあわせの上、プログラムを体験しにきてください!



三ツ橋敬子(指揮・お話)

©大杉幸平



2017年 公演より

©青柳聡

三ツ橋敬子の新♡夏休みオーケストラ! みんなでラブラブ! 編 in 横須賀

神奈川県立音楽堂

見て、聴いて、感じて 夏休みだけのオーケストラ体験



藤木大地(カウンターテナー)



三ツ橋敬子の新♡夏休みオーケストラ! みんなでラブラブ! 編 in 横須賀

2018年8月12日(日) 15:00 よこすか芸術劇場

出演:三ツ橋敬子(指揮・お話) 藤木大地(カウンターテナー)
神奈川県フィルハーモニー管弦楽団 他

ワーグナー:オペラ「ローエングリン」第3幕への前奏曲

《指揮者体験!》

メンデルスゾーン:劇音楽「夏の夜の夢」より「結婚行進曲」

《舞台上で聴いてみよう!》

ドリーブ:バレエ音楽「 Coppélia」より「マズルカ」

プロコフィエフ:バレエ音楽「ロミオとジュリエット」より

《オーケストラと一緒に歌ってみよう!》

ヴェルディ:オペラ「アイーダ」第2幕「凱行行進曲」より 他

全席指定 小学生1000円 中学生1500円 一般3500円

※未就学児入場不可(有料託児サービス有・要事前申込)

【関連企画】

8月11日(土・祝) ~ 8月12日(日)

●夏オケ! 合唱隊 in よこすか (小学生以上)

●音楽堂ジュニア・スタッフ養成講座 ミニVer. (小学4年生~中学3年生)

●指揮者体験!

(8/12のコンサートのチケットをご購入済みの小・中学生)

※詳細およびお申込方法は、HPをご覧ください。(詳細は6月頒布表予定)

毎年8月に音楽堂で開催し大好評の「夏休みオーケストラ!」。2018年は音楽堂が改修工事にとまない休館中のため、よこすか芸術劇場で開催いたします。今年のテーマは「愛」! オペラハウス仕様のよこすか芸術劇場にちなみ、めくるめくオペラ&バレエの音楽を中心にお届けします。劇場は愛でいっぱい! 素敵な愛の音楽をご家族でお楽しみください。世界が認めたカウンターテナー・藤木大地さんがソリストとして登場! 透き通るような素敵な歌声にぜひうっとりしてください。そして、バレエダンサーがパ・

ド・ドウを踊る本格的なシーンもあり、盛りだくさんでお届けいたします。また、毎年恒例の参加無料の関連企画も実施! 出演者の一人となり「アイーダ」の「凱行行進曲」の合唱を歌える「夏オケ! 合唱隊 in よこすか」や、オーケストラを指揮できる夢の体験「指揮者体験!」。コンサート準備と本番をお手伝いしながら、ホールの仕事とオーケストラについて学べる「音楽堂ジュニア・スタッフ養成講座ミニVer.」。よこすか芸術劇場で夏休みオーケストラ! のスタッフの一員として参加してみませんか。



岡田 澪(フルート)



上水樽 力(作曲・ピアノ)



203gow (作家)

オープンシアター 2018

神奈川県民ホール

0歳から楽しめるプログラムも!

FOCUS



素敵な音楽や舞台、美術を一度に楽しめる、オープンシアター2018。神奈川県民ホールギャラリーでのプログラムはなんと0歳から楽しめます!

まずは当日の大ホール公演、オペラ「エンゼルとグレートテル」にちなみ、作家・ニイマルサンゴウの個展「へんなあみものおかしなおかしの家」を開催。203gowは美術館やギャラリーでの個展のほか、百貨店やファッション誌背景などの造形美術制作、ワークショップ講師、街中を編み物で埋め尽くすゲリラ編み集団「編み奇襲団」主宰など、編み物を軸に幅広く活躍している作家です。小物から大型立体物までカラフルな毛糸で編まれた、ユーモラスな作品たちの世界に遊びましょう。

改修休館中の神奈川県立音楽堂企画も多彩です。ギャラリー内の細長い部屋では、楽器づくり、フルートと弦楽器の楽器体験や「音を絵にする、絵を音にする」ワークショップを開催。また、赤ちゃん連れの方が床に座ってほっとひと息できるス

●音楽堂企画

「みんなでつくろう 森の音楽堂」
2018年6月3日(日) 10:00~16:00
〈ギャラリー第2~5展示室〉
一般500円 小学生以下無料
※当日受付/要事前申し込み
※0歳児から入場可能

●県民ホール企画

203gow展 へんなあみもの
おかしなおかしの家
2018年5月30日(水)~6月3日(日)
10:00~18:00
〈ギャラリー第1展示室〉
入場無料



ペースもご用意。
20mの壁いっぱいには、絵巻物のような木のホール・音楽堂のあるまちの巨大ぬりえが出現。オイルパステルを使って、大人も子どもも思いっきりぬっちゃいましょう!

中央の吹き抜けのある大きな広間では、上水樽力さんとその仲間たちのミニコンサートが開かれます。上水樽さんは東京藝大大学院在学中の若き作曲家・ピアニスト。ミスタードーナツのCMやテレビドラマの劇中音楽などで活躍中です。フルート奏者岡田澪さん、レスパス弦楽四重奏団ら若き音楽家たちの、楽しく優しい音に満ちた「木のホール・音楽堂」森の音楽会」に、子どもたちも、当日のワークショップでつくった自作の楽器で参加できます。ぜひ会場へ遊びに来てください!

横浜バレエフェスティバル 2018

神奈川県民ホール



神奈川県出身の菅井円加をはじめ、世界で活躍するトップダンサーたちが2018年夏も横浜に集結、豪華プログラムをお届けします。ジュンヌバレエYOKOHAMAやオーデイション選抜者など、将来が期待される若手ダンサーも必見です。どうぞお楽しみに!

2018年7月21日(土) 15:00 〈大ホール〉

出演:菅井円加 小池ミモザ 近藤亜香 津川友利江 金原里奈 オスター 紗良 チェンウ・グオ 二山治雄
遠藤康行 加藤三希央 パティスト・コワシュー ニコラス・グラスマン 柳本雅寛 栗原ゆう 松浦祐磨
ジュンヌバレエYOKOHAMA

S(指定席) 11880円(当日12000円) A(指定席) 9720円(当日10000円)

B(3階自由席) 大人3240円(当日4000円) こども2000円

神奈川県民シート(指定席・神奈川県在住、在勤の方のみ購入可・チケットかながわ窓口、電話のみ・前売のみ) S 6480円 A 5400円

KAAT×地点「山山」

2018年6月6日(水)～6月16日(土)〈中スタジオ〉

作:松原俊太郎 演出:三浦基

出演:安部聡子 石田大 小河原康二 窪田史恵 小林洋平 田中祐気 麻上しおり
全席自由(入場整理番号付) 一般3800円 U24 1900円 高校生以下1000円 シルバー 3300円

地点「忘れる日本人」

2018年6月21日(木)～6月24日(日)〈中スタジオ〉

作:松原俊太郎 演出:三浦基

出演:安部聡子 石田大 小河原康二 窪田史恵 小林洋平 田中祐気 麻上しおり
全席自由(入場整理番号付) 前売 一般3500円 学生2500円/当日 一般4000円 学生3000円

◎2演目セット券(「山山」+「忘れる日本人」)6800円

チケット予約は WEB予約(24時間)
Tel. 0570-015-415 (10:00～18:00) f t

KAAT×地点 共同制作シリーズ
渾身の2本立て公演!!
「山山」「忘れる日本人」

KAAT神奈川芸術劇場



2017年「忘れる日本人」公演より

撮影:松本久木



演出家・三浦基が代表を務め京都を拠点に活動する劇団地点。
地点は、テキストを独自の手法によって再構成・コラージュして上演します。言葉の抑揚やリズムをずらし、意味から自由になることでかえって言葉そのものを剥き出しにする手法は、しばしば音楽的とも評されています。
KAAT神奈川芸術劇場では、2011年の開館当初より継続的に地点との共同制作を行ってきました。
これまでに、太宰治やチェーホフ、イェリネクなど、KAATと共にさまざまな



作品を上演。昨年は、2015年に処女戯曲「みちゆき」でAAF戯曲賞大賞を受賞し、鮮烈なデビューを果たした松原俊太郎の書き下ろし作品「忘れる日本人」で注目を集めました。
船をとりまき、行き場を求めてさ迷う人々が現れて……。KAATの白井晃芸術監督によれば「忘れる日本人」は「三浦と地点が松原の戯曲と出会い、新たなステージに踏み入った」作品となりました。この6月に待望の再演です!
そして三浦が再び松原とタッグを組むのが新作「山山」です。
立入禁止区域。かつてそこに暮らしていた家族が我が家に戻ると、作業用ロボットと外国人労働者による除染作業が行われていた……。
美しかった山と汚染物質の山の狭間で暮らす家族たちの新たな抵抗を描きます。「山山」と、「忘れる日本人」の二本立て! この機会をどうぞお見逃しなく。



撮影:古屋均

横浜ボートシアター
「さらばアメリカ!」

KAAT神奈川芸術劇場



横浜ボートシアターの公演は「恋に狂ひて」に続く熱狂の現代劇。昭和3年に生まれ16歳で終戦を迎えた、劇団代表・遠藤琢郎の自伝的作品!をお届けします。

2018年5月25日(金)～6月3日(日)

〈大スタジオ〉

脚本・演出:遠藤琢郎 音楽:松本利洋

出演:丹下一 玉寄長政 吉岡紗矢

リアルマッスル泉 近藤春菜

柿澤あゆみ 奥本聡 村上洋司

全席自由 一般4000円 U25 (25歳以下)2500円

高校生以下1000円 ペア7000円(劇団のみ取扱い)

(当日 一般・U25各500円増、高校生以下200円増)

*5/25(金)19:00、26(土)19:00両公演前売 一般・U25 500円引

第54回神奈川県美術展
作品募集

神奈川県民ホール



神奈川県美術展は、昭和40年から毎年開催される県下最大規模の公募美術展。募集部門は4部門(平面立体/工芸/書/写真)、大賞は最大200万円。年齢・国籍を問わず全国どなたでもご応募できます。(応募要項は、HPよりダウンロード可。)



応募作品搬入日(ギャラリー)

2018年7月14日(土)・15日(日)10:00～16:00

募集部門:平面立体・工芸・書・写真

展覧会

1期展 平面立体

2018年9月5日(水)～9月16日(日)

2期展 工芸・書・写真

2018年9月19日(水)～9月30日(日)

www.kanagallery.com

44年目の大型改修 大ホールの機構一新

神奈川県民ホール

なぞの言葉、舞台機構とは？



昨夏から続いた舞台機構の改修工事もなく終わる大ホール。いよいよ6月にリニューアルオープンを迎えます。ところで、舞台機構ってなに？ そう思う人も多いでしょう。簡単に言うと、それは舞台に備わった設備のことです。設備といっても空調や楽屋のことではありません。床の下から人が現れる「**迫舞台**」や、幕間に入れ替わる背景幕やセットを吊っておく「**吊りものバトン**」などの、演出に関わる機器類のことを舞台機構と呼びます。

これでなんとなくわかりましたか？
まだちょっとピンと来ない方、ご心配なく。ちょうど今、劇場の達人さんとカナちゃん、新しくなった舞台機構を見に来ているので、一緒に見てみましょう！

◆中ホリゾン幕◆ (スクリーン)

映像を投影する幕です。透過性のある素材になって、正面だけではなく、背面からの投影も可能になりました。



◆バトン◆

舞台セットや幕類を吊る、鉄製のパイプです。耐過重が大幅にアップして、大掛かりな演出に対応できるようになりました。



◆反響版◆

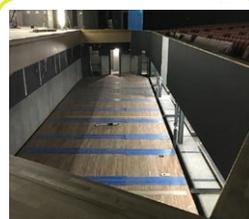
合唱やオーケストラの生音を反響させて、客席へ届ける可動壁です。表面の厚みを増して、低音が響くようになりました。



写真は納品直後に撮影

◆舞台機構操作盤◆

バトンや迫舞台の動きを制御します。タッチパネル式のものに変わり、メモリー機能も搭載しています。



◆オーケストラピット◆

オペラやバレエ公演で、オーケストラが演奏する場所です。床を全面張り替え、柵も新調して、すべてがびっかびかになりました。



◆床◆

舞台の床を全面張り替えました。以前は黒でしたが、明るい木の色に変わり、ぐんと華やかな雰囲気になりました。



◆車椅子スペース◆

床から外せる可動席を増やします。ワンプロックまとめて取り外せば、最大12台分の車椅子スペースの増設が可能になります。



◆手掛け棒◆

客席の背もたれに取り付けて、階段の上り下りを補助します。2階席、3階席の階段に面した席に設置します。



写真提供：
コトブキシーティング(株)

知れば、
知るほど、
好きになる

音楽の小箱

オーケストラ

クラシック音楽の雄、オーケストラ。弦・管・打楽器群が半円形に並んで演奏する光景は、なんとも壮観です。

オーケストラの語源「オルケストラ」は、古代ギリシアで舞台と客席の間で合唱隊が歌い踊った場所のこと。17世紀のイタリアで、ギリシア悲劇を復活しようとオペラが誕生しますが、「オルケストラ」は歌劇場で歌の伴奏をする楽器奏者を指すようになりました。オペラはオーケストラのゆりかごです。モンテヴェルディ

のオペラ「オルフェオ」(1607年初演)の器楽合奏はオーケストラへの出発点となり、オペラの序曲「シンフォニア」は交響曲の原型になりました。

18世紀末までにオーケストラは、弦楽合奏にフルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、ホルン、トランペットの各管楽器2本にティンパニが加わる「2管編成」という編成が整えられていきます。弦楽合奏は、2部に分かれるヴァイオリンと、ヴィオラ、チェロ、コントラバスから成る「弦楽

五部」という今日まで同じ楽器編成です*。しかし管楽器では、ベートーヴェンが2管編成にトロンボーンを加えた

のをはじめ、19世紀を通じて作曲家たちは管楽器の種類を増やしたり、3管や4管に増強するなど次々と創意を凝らしていきました。20世紀にはさまざまな打楽器や、時には電気楽器も加えられるなど、編成はさらに巨大化していきます。しかしその一方で、小編成の室内オーケストラのための音楽も数多く作曲され、また、一度は廃れた古楽器を復活させた古楽オーケストラも結成され、盛んに活動するようになりました。

多種多様なオーケストラが欧米を越えた世界中で演奏会を開く現代。まさにオーケストラの黄金期といえるのではないのでしょうか。

*弦楽器の数は管楽器の編成規模に準じて増減する



写真提供: 神奈川フィルハーモニー管弦楽団

楽器ミュージアム

オーボエ

オーケストラの演奏会では、指揮者が登場する前に必ず全楽器が音高を合わせるためのチューニングを行います。この時、最初に基準の「ラ」の音を出すのが、オーボエです。

黒い木管の本体に銀色に光る金属製のメカニックで複雑な構造のキーを持ち、先端に挿し込んだリードに息を吹き込んで音を出します。リードとは乾燥させた葦の茎を薄く削ったもので、オーボエでは2枚のリードを向い合わせて使います。2枚のリードとも微妙にカーブしているため両端を合わせると中央に小さなすき間ができるのですが、ここに息を通すとリードが細かく震えて音が発生するのです。

オーボエは17世紀半ばのフランスで誕生しました。当時はキーが2、3個しかない簡単なものでしたが、2オクターブもの音域をカバーし音量も豊かだったため、瞬間に欧州各国に広まりました。その後、キーを追加するなどの改良が施され、19世紀末には現代のオーボエの主流となるタイプが開発されました。現在の標準的なモデルでは28個の孔と、16個の孔を開閉するためのキーがあり、約3オクターブの音域があります。

オーボエ本体の中はとても細く上

側の内径は4mm程度(下のベルに向けて少し広がる)。また息を吹き込む穴が狭いため、少しずつしか息を入れられず、音を出すことがとても難しい楽器です。しかしその反面、長い旋律をひと息で吹くことができ、またオーボエならではの豊かな音量で音楽の輪郭を鮮やかに描き出します。息の加減で陰影のある甘美な音色から金管楽器のような鋭い響きまで吹き分けられるので、オーケストラのなかでもとりわけ歌心のある楽器といわれています。



全長は60cmで、上から上管・下管・ベルの3つの部分に分解できる



イラスト:遠藤裕喜奈

ハンス・クリスチャン・アンデルセン 「ナイチンゲール(小夜啼鳥)」

グリム兄弟と並ぶ童話作家の巨匠、ハンス・クリスチャン・アンデルセン。1805年、デンマークの貧しい靴職人の子として生まれました。「人魚姫」「裸の王様」「みにくいアヒルの子」「マッチ売りの少女」など、彼の童話を知らない人はいないでしょう。

1843年、38歳のアンデルセンは、デンマークを訪れた若いオペラ歌手と再会します。スウェーデンのナイチンゲールと呼ばれたジェニー・リンド嬢です。彼女とは3年前に会っていますが、23歳の誕生日を間近に控えたリンド嬢は美しいプリマドンナに変身していました。コペンハーゲンでの公演は全市民を虜にします。リンド嬢は歌声だけでなく、美しい心の持ち主でした。休みのないスケジュールの間合をぬって子どもたちのための慈善興行を行い、収益を全て寄付しています。

彼女の滞在中、アンデルセンは毎日リンド嬢を訪ねます。彼は日記に書いています「僕は恋している」「求婚しようかと考えた。目眩がした」。帰国前には手紙を手渡し、その日の日記に「彼女はわかってくれるだろう。愛して

いる」と書いています。しかし、彼女からの返事はいくら待っても届きませんでした。

翌年、アンデルセンは『新童話集』を発表します。「ナイチンゲール」という、リンド嬢の愛称をタイトルにした作品が収録されています。死の床に臥す皇帝がナイチンゲールの美しい鳴き声で生氣を取り戻す、という物語です。アンデルセンはリンド嬢に『新童話集』を送ります。礼状が届きますが、アンデルセンをお兄様と呼びかけるものでした。

1852年、ジェニー・リンド嬢は作曲家・指揮者・ピアニストのオットー・ゴルトシュミットと結婚します。

同年、アンデルセンは、幼なじみの歌姫に恋する若い靴職人が修行の旅の果てに荒野で彼女の夢を見ながら死んでいく「柳の木の下で」を発表しています。

ハンス・クリスチャン・アンデルセン
Hans Christian Andersen (1805~75)

デンマークの童話作家、詩人。150余編の童話を書いた。アンデルセンの童話は、グリム兄弟のような昔話と違い、創作作品が多い。

山本理頭の
街は
舞台だ

第13回

子どもたちを見守ってくれるのは周辺地域社会の住人たち
横浜市立子安小学校
(設計：山本理頭)



まだ一部工事中。奥行き4mの広いテラスがこの小学校の最大の特徴である



幅4mの廊下に面して教室が並ぶ。教室の建具は二重になっている

企画・監修：山本理頭（建築家）



©Jake Waltersm

1945年生まれ。71年、東京藝術大学大学院美術研究科建築専攻修了。東京大学生産技術研究所原研究室生。73年株式会社山本理頭設計工場を設立。2007～11年、横浜国立大学大学院教授。2018年、名古屋造形大学学長。

横浜市立子安小学校が完成した。1300人の子どもたちが学ぶことのできる小学校である。なぜこんな大きな小学校をつくることになったのか。近くに高層マンションがつくられることが決まっているからである。周辺の小学生人口は今後確実に増えるのである。それにしても、である。1300人という人数はあまりにも多い。先生たちはどこまで子どもたちに目配りができるのだろうか、一人ひとりの個性の違いを大切にしながら、集団生活のルールを学ばせるためにはどうしたらいいのか。それが先生たちの最大の気がかりだった。私たちが設計者として選定された後に、その設計案を巡って、もう一度長い時間をかけて話し合わなくてはならなかったのはそのためもあった。

建築家としてはもう一つ心配事があった。小学校を支える地域社会の範囲（小学校区）があまりにも大きすぎるのである。学校は教育の場所だけれども、一方でそれは同時に周辺地域社会の人びとの共同体意識の中心なのである。だから小学校の先生たちは、子どもたちに気を配ると同時に近隣地域社会の人びとに対しても十分に気を配る必要があるわけである。私たちは次のようなことを話し合った。教室を密室化しない。子どもたちと担任の先生との関係が教室の内側に閉じてしまつてはなくて、廊下との関係や隣り合った教室、向かい側の多目的室等との関係を積極的に活用してほしいと思った。そのために、従来の学校と比べてもかなり広い廊下とテラスなのである。時には廊下と教室を一体的に使う。広いテラスでとなりの教室の担任とも協働できるような授業形態も可能だと思う。テラスの奥行きは4mもあるのだ。積極的に廊下側にも外側にも開くような授業形態は校長先生の思いでもあった。それでも時には静かな教室もほしい。そこで廊下側の建具を工夫した。ガラス張りの透明な建具と木の建具を用意して、必要に応じて使い分けられるようにした。校長先生の言葉を借りれば、セミオープンシステムである。

周辺環境に対しても、オープンな学校である。外から広いテラスで子どもたちが活動している様子が見える。子どもたちの活動を見守ってくれるのは周辺地域社会の住人たちなのである。

かながわ
芸能
●
歳時記

第13回

海^{しお}の町・葉山に伝わる仮面の舞
潮神楽
(三浦郡葉山町／森戸神社／6月)



天狗と山の神による愉快的「剣舞毛止幾」

WEB
+a!

監修：神奈川県民俗芸能保存協会会長 石井一躬
協力：葉山町教育委員会生涯学習課・森戸神社
写真提供：森戸神社

住所：神奈川県三浦郡葉山町堀内1025 (森戸神社)
交通：JR横須賀線「逗子」駅、京浜急行「新逗子」駅から
バス(葉山行き・海岸回り)にて「森戸神社」下車
日時：2018年6月16日
お問合せ：葉山町教育委員会生涯学習課 046-876-1111

潮神楽は、毎年6月16日に海の安全と大漁を祈願して、葉山の森戸神社にて奉納されます。江戸時代の中頃、熊野地方(現在の和歌山県)から移住してきた漁師たちによって、始められたといわれています。

神楽は全八座の構成です。米を四方に撒き、神楽場を清める「羽能」。神楽場などを祓う「御祓」。竹で出来た御幣を持ち神を招く「御幣招き」。御湯を笹に浸し神様へ捧げる「湯上」。御幣で湯を掻き混ぜる「掻湯」は、湯玉が大きく上ると吉(大漁満足)。笹を湯釜に浸し、湯を周囲にふり撒く「笹舞」。弓矢を持って舞い、四方に矢を放ち邪気を祓う「射祓」。赤い面の天狗が天下泰平を祈り力強く舞う中、黒い面の山の神が滑稽な仕草で参列者の緊張した心を解いていく「剣舞毛止幾」。最後に参列者へ無病息災を祈念した沢山の鈴や菓子撒かれます。

●同時期(7月)開催のその他の祭り
江ノ島囃子(藤沢市江ノ島／八坂神社／7月8日)
禰宜舞(川崎市宮前／白幡八幡大神／7月15日)

more! カナガワ

神奈川フィルハーモニー管弦楽団
定期演奏会みなとみらいシリーズ第340回

2018年6月16日(土) 14:00 横浜みなとみらいホール
指揮：高関 健 ピアノ：アルセニ・タラセヴィチニコラーエフ
シチェドリン／ベートーヴェンのハイリゲンシュタットの遺書(日本初演)
ベートーヴェン／ピアノ協奏曲第3番、交響曲第3番「英雄」
全席指定 S 6000円 A 4500円 B 3000円 コース(25歳以下)当日のみ1000円
神奈川フィル・チケットサービス 045-226-5107 (平日10:00-18:00)
www.kanaphil.or.jp/ @kanagawaphil facebook.com/kanaphil

神奈川近代文学館

企画展「生誕150年 詩人大使ポール・クローデルと日本展」
2018年5月19日(土)～7月16日(月・祝)
開館時間：9:30-17:00(入館は16:30まで) 休館日：月曜日(7月16日は開館)
2018年に生誕150年を迎える、20世紀フランスを代表する劇作家、詩人であり、外交官としても世界各地で活躍したポール・クローデル(1868～1955)。本展はクローデルと日本との関係に焦点を当てて紹介。
観覧料：一般400円(65歳以上・20歳未満割引有り/中学生以下は無料)
TEL.045-622-6666 www.kanabun.or.jp

神奈川県立近代美術館 葉山

「ブルー・ムナリー こどもの心をもちつづけるということ」展
2018年4月7日(土)～6月10日(日)
開館時間：9:30-17:00(入館は16:30まで) 休館日：月曜日
観覧料：一般1200円 20歳未満・学生1050円 65歳以上600円
高校生100円 TEL.046-875-2800 www.moma.pref.kanagawa.jp

神奈川県文化課

平成30年度かながわ伝統芸能ワークショップ
「日本舞踊に学ぶ『和』の作法」

小中学生を対象に、日本舞踊を通じて、浴衣の着付、扇の扱い方など和の作法やたしなみを楽しく学びながら、伝統的生活文化の奥深さや所作を体験するワークショップです。
開催場所・日程 ①横須賀市文化会館 7月26日(木)～28日(土) ②伊勢原市中央公民館 8月2日(木)～4日(土) ③藤沢市民会館 8月9日(木)～11日(土) ④県立青少年センター 8月14日(火)～16日(木)
参加費 3000円(兄弟姉妹でお申し込みの場合、2人目からは1000円引き)
文化課文化事業グループ 045-210-3808
www.pref.kanagawa.jp/cnt/p883536.html

My Roots My Favorites

岡本知高

(ソプラニスタ「男性ソプラノ歌手」)



ようやく出会えた先生に
言われました。

「歌える歌は全部歌えばいい」

姉のピアノに合わせて家族みんなで唱歌を歌うような音楽に満ちた家庭で育ちました。中学で吹奏楽部に入学してアルトサクスを始め、将来音楽の先生になり吹奏楽とともに生涯過ごしたいという夢ができました。さっそく音楽大学に入るためにサクスのレッスンを開始。ところがレッスンはソロの勉強、一人では吹奏楽の音響に包まれることはない。「なんか違う」と葛藤を感じつつ、受験科目にあるので歌のレッスンも始めたら、がぜん歌うことが楽しくなっていました。実はミュージカルに興味を持ち始め、生まれ変わったら歌手かダンサーになりたいと思っていたんです。「生まれ変わらなくてもなれるのでは？」という気になり、ようやく専攻が声楽に定まって、音大へ進学しました。僕は高知県宿毛市の出身、近くには四万十川が流れています。川辺で発声練習すると野犬が集まってきて、一緒に上手なピアノで遠吠えをする、のどかなところなんです。雲の上の夢と現実はあまりにもかけ離れていたけれども、無事音大に入学できました。

そんな田舎育ちなので僕にとって東京は海外のようなところ、留学なんて全然考えていませんでした。でも

アーティストのプロフィールを見ると海外で勉強している人が多い。だったら嫌なことはさっさと終わらせようと留学を決意。自分のレベルを知りたかったし、バロック・オペラをちゃんと勉強する気持ちでした。先生を紹介していただき、13人目でようやくこの先生だ、と思える方に会い、パリのブーランク音楽院に通ったんです。女性の先生だったのですが、「バロックにこだわることはない、歌える歌は全部歌えばいいじゃない」とレパートリーを広げてもらいました。

どんなジャンルでもちゃんと歌える歌手でいたいので、トレーニングは怠りません。30代になって憧れのミュージカルにも出演し始めました。最初にバロック・オペラをみっちりやって、さらにソプラノのレパートリーを学んだことは僕の財産。劇場に来てくださるお客さまのために、大切に歌いたいと思っています。(聞き手・文:結城美穂子)

岡本知高 Tomotaka Okamoto

1976年生まれ。高知県宿毛市出身。世界的にも大変希有な「天性の男性ソプラノ歌手」ソプラニスタ。国立音楽大学卒業後、仏、ブーランク音楽院を首席で修了。さまざまなアーティストやオーケストラとの共演に留まらず、海外オーケストラからの呼び声も高い。県民ホールでは、一柳慧作曲オペラ「ハーメルンの笛吹き男」を世界初演。

*6月3日(日) 神奈川県民ホール オープンシアター 2018「ヘンゼルとグレーテル」に出演。

REVIEW

神奈川県民ホール・オペラ・シリーズ2018 出張公演 モーツァルト作曲 オペラ「魔笛」

2018年3月11日(日) よこすか芸術劇場・18日(日) 相模女子大学グリーンホール(大ホール)

指揮:川瀬賢太郎 演出:宮本亜門

出演:大塚博章(ザラストロ) 鈴木准(タミーノ) 鹿野由之(弁者) 安田麻佑子(夜の女王) 幸田浩子(パミーナ)
九嶋香奈枝(パパゲーナ) 萩原潤(パパゲーノ) 高橋淳(モノスタトス) 他
合唱:二期会合唱団 管弦楽:神奈川フィルハーモニー管弦楽団



©青柳聡

県民ホールが3月末まで改修休館中のため、よこすか芸術劇場と相模女子大学グリーンホールに出張し、モーツァルトの「魔笛」を上演しました。神奈川では初お目見えとなる宮本亜門による演出で、2013年オーストリア・リンツ州立劇場で初演、日本では2015年に東京二期会により上演された話題を呼んだ舞台は、プロジェクション・マッピングを活用したスピーディな場面転換で、観客を冒険ファンタジーの世界にひき込みました。歌手陣の素晴らしい歌唱と演技、さらに独創的な衣裳やユーモア溢れる場面など、台詞入りオペラである「魔笛」の魅力を存分に発揮した舞台と、川瀬賢太郎率いる神奈川フィルの軽快な演奏に大きな拍手が送られました。

お客様の声

小学校の時、「魔笛」の夜の女王の aria を聞いていて実際に聞いてみたいと思い今回のオペラを見にきました。初めてのオペラで想像をはるかに上回る迫力で念願の aria を聞いて本当によかったです。(10代女性)

とても楽しい公演でした。小学1年生の娘でも楽しめる公演でした。「魔笛」をあらかじめ勉強する企画も同時期にあり、参加させていただきました。子供も喜んでいました。(40代女性)

斬新な演出と舞台装置に驚きました。「魔笛」の魅力は尽きないものがあります。(60代男性)

公益財団法人神奈川芸術文化財団をご支援いただいている方々

公益財団法人神奈川芸術文化財団では、賛助会員制度を始めとしたさまざまなご支援の仕組みを通じて、広く皆さまからご寄附・お力添えをいただいております。

公益財団法人神奈川芸術文化財団 賛助会員

法人賛助会員 株式会社アクトエンジニアリング/アサヒビル株式会社/アズビル株式会社/学校法人岩崎学園/株式会社ヴォートル/株式会社エス・シー・アライアンス/株式会社NHKアート株式会社勝烈庵/一般財団法人神奈川県教育福祉振興/公益財団法人神奈川県結核予防会/神奈川県信用保証協会/株式会社神奈川孔文社/株式会社神奈川保健事業社神谷コーポレーション株式会社/カヤバシステムマシナリー株式会社/川崎北ロータリークラブ/川本工業株式会社/かをり商事株式会社/株式会社共栄社/株式会社ケイエスピー株式会社KSP/株式会社合同通信/コトブキシーティング株式会社/株式会社サンナイオートメーション/株式会社シグマコミュニケーションズ/株式会社ジェイコムイースト横浜テレビ局株式会社清光社/月島機械株式会社/株式会社テレビ神奈川/東工株式会社/ナイス株式会社/株式会社日建設計/日産自動車株式会社/日生商工株式会社/日総ブレイン株式会社株式会社野毛印刷社/パナソニックESエンジニアリング株式会社/平安堂薬局/株式会社ホテル、ニュウグランド/一般社団法人本牧関連産業振興協会/丸茂電機株式会社/三沢電機株式会社森平舞台機構株式会社/ヤマハサウンドシステム株式会社/株式会社有隣堂/株式会社豊商會/株式会社ユニコーン/株式会社横浜アーチスト/横浜新都市センター株式会社横浜信用金庫/弁護士法人横浜/パートナー法律事務所/横浜ビルシステム株式会社/株式会社ワイイーシーソリューションズ(匿名:2社)
永年個人賛助会員 川村恒明 個人賛助会員 味田健一/岩間良孝/岡田博子/黒瀬博晴/小山明枝/嶋田昌子/高岡俊之/橋本尚子/藤原靖也/三宅浩二/渡邊政彦(匿名:4名)

協賛・協力

能舞台協賛 ナイス株式会社

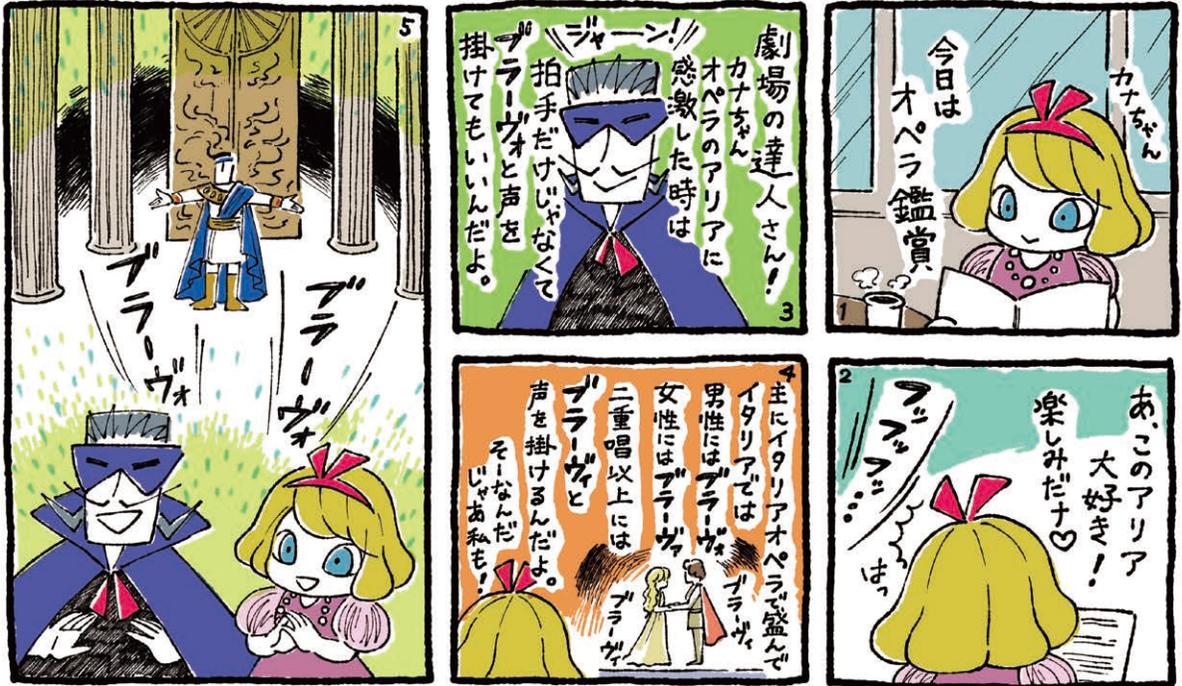
協力 神奈川総合設備株式会社/神奈川トヨタ自動車株式会社/崎陽軒/株式会社東芝/株式会社野毛印刷社/株式会社富士住建/三菱地所株式会社 (敬称略 2018年4月2日現在)

ご寄附・ご協賛・ご協力のお申込み・お問合せ: 本部経営企画課 045-633-3760 www.kanagawa-arts.or.jp/support/

劇場の達人

「ブラーヴォ！」

え・ユキナ



Kame かながわメンバーズ 登録無料!
KANAGAWA members メルマガ無料配信
チケットの先行予約が可能
登録は WEB で! www.kanagawa-arts.or.jp/kame

神奈川芸術プレスはここにあります。
神奈川県内の主な公共施設の情報コーナー、首都圏の公共
ホール・公立図書館・博物館・書店・銀行等に配架しております。
WEBでも読めます! www.artspress.jp

MAGCUL 神奈川県発、文化発信ポータルサイト
CUL マグカル ドット ネット
MAGCUL.NET

ご支援のお願い

公益財団法人
神奈川芸術文化財団

皆様のご支援が、 神奈川の文化と芸術を支える糧となります。

公益財団法人 神奈川芸術文化財団は、神奈川県民ホール、KAAT 神奈川芸術劇場、神奈川県立音楽堂を運営し、音楽・演劇・オペラ・ミュージカル・ダンス・伝統芸能の公演、美術展などの幅広いプログラムをお届けしています。これからも神奈川県内の文化・芸術を振興するとともに、神奈川から文化の発信を行なってまいります。皆様のおたかご支援をよろしくお願い申し上げます。

賛助会員
(法人・個人)

年間を通じて財団の事業全般にご賛助。

個別協賛
(法人・個人)

特定の公演等に対してご協賛。

広告スポンサー

主催公演のチラシや当日プログラム、「神奈川芸術プレス」などへの広告。

団体鑑賞

主催公演のチケットを福利厚生・販売促進等ツールとして。

弊財団への賛助会費(寄附金)には、税制上の優遇措置があります。

詳細・お申込み・お問合せ | 公益財団法人神奈川芸術文化財団 本部経営企画課 〒231-0023 横浜市中区山下町23 日土地山下町ビル6階
電話: 045 (633) 3760 FAX: 045 (663) 3714 www.kanagawa-arts.or.jp/support/

撮影: 本多康司

編集後記

すっかり新緑の季節になり、県民ホールもリニューアルオープンしました。ますます気持ちのよい季節に、みなさまどうぞ公演にお越しください。(亀子) これからもますますお出かけにぴったりの季節となります。神奈川芸術プレスを持って街に劇場に、神奈川散歩してみませんか。(倉)